ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ対応　モデムダイヤルイン切替機

ＭＤ－１０３

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、ＭＤ－１０３をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ＭＤ－１０３の優れた性能を十分に発揮させると共に、末永くご愛用いただくために、
この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。
お読みになった後は、必要に応じていつでも取り出せる場所に、保証書とともに大切に
保管してください。

この製品は必ずＡＣ１００Ｖで使用してください。
ＡＣ１００Ｖ以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。

本機は、技術基準適合認定品です。

MORITEC　株式会社モリテック

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの『安全上のご注意』をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

◎絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示の欄は 『火災や、人が死亡または重傷を負う危険が想定される』内容です。
⚠警告	この表示の欄は 『火災や、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。
⚠注意	この表示の欄は 『傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される』内容です。

◎絵表示の例

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

分解禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け）が描かれています。

設置されるとき

⚠危険

禁止	・表示された電源電圧ＡＣ１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。 ・本機を使用できるのは日本国内のみです、船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。 火災の原因となります。

⚠ 危険

感電注意	・本機後面の回線ネジ端子・ＴＥＬ１ネジ端子の金属部分に手を触れないでください。 接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。 無理に手を触れると感電の原因となります。

⚠ 警告

強制 禁止	・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり倒れたりして大けがの原因となることがあります。 ・本機を水に濡れる様な場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。 ・本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ・本機にﾃｰﾌﾞﾙｸﾛｽを掛けたり、じゅうたんや布団などの上に置かないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ・タコ足配線はしないでください。 発熱により火災の原因となることがあります。

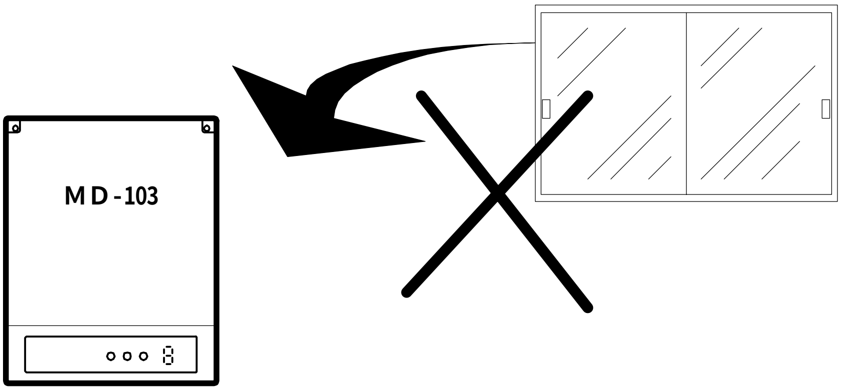
⚠ 注意

注意	・直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。 ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。 ・調理器や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。
電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け	・他の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜いて接続してください。 ・本機の移動は必ず電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いた状態で行ってください。 火災・感電の原因となることがあります。

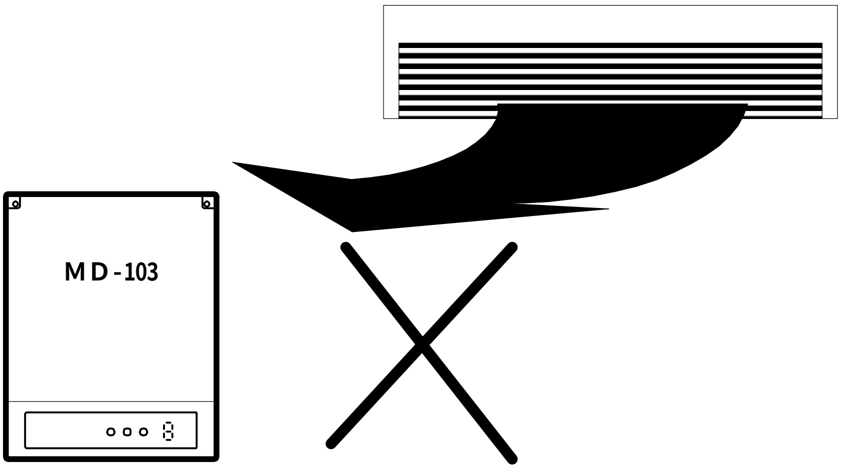
⚠ 注意

⚠ 注意

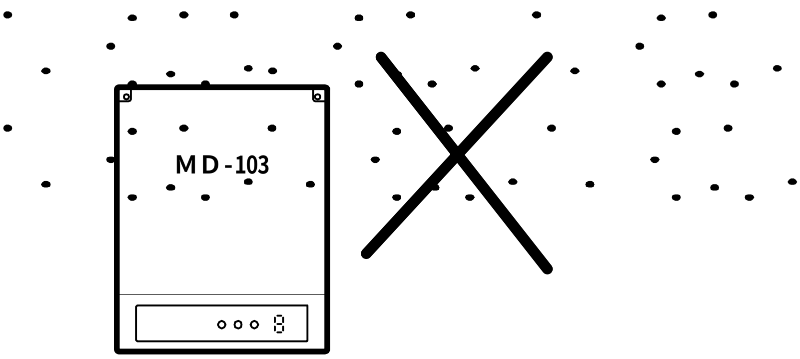
・寒冷地では、本機に直接外気が当たらない室内に設置してください。
火災・感電の原因となることがあります。



・冷暖房時に風が本機に直接当たらない場所に設置してください。
火災・感電の原因となることがあります。



・本機は精密機械ですので、ホコリやチリの多い場所はさけてください。
火災の原因となることがあります。

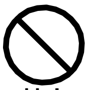


ご使用になるとき

警告

禁止	・本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 ・電源ｺｰﾄﾞを傷つけたり、加工したり、無理にねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 ｺｰﾄﾞが破損して、火災・感電の原因となります。
分解禁止 感電注意	・本機のｹｰｽは絶対に開けないでください。 感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。 弊社の指定したｻｰﾋﾞｽﾏﾝ以外によってｹｰｽが開けられた場合にはその後の性能および品質については弊社は一切責任を負いません。 ・本機を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
接触禁止	・雷が鳴り出したら、電源ﾌﾟﾗｸﾞおよび回線ﾓｼﾞｭﾗｰﾌﾟﾗｸﾞには手を触れないでください。 感電の原因となります。
注意	・電源ｺｰﾄﾞが傷んだら（芯線の露出、断線など）取扱店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
注意 電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け	・万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。 すぐに（素手でなく、必ず厚手の手袋か乾いた布を使用して）電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いてください。 煙が出なくなるのを確認してから、取扱店に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 ・万一、機器の内部に水や異物などが入った場合は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いて取扱店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け	・回線が切替らないなどの故障状態で使用しないでください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

 禁止	・本機の上に重いものや大きなものを置かないでください。 倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 ・濡れた手で電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜差しないでください。 感電の原因となることがあります。 ・電源ﾌﾟﾗｸﾞを抜くときは、電源ｺｰﾄﾞを引っ張らないでください。 ｺｰﾄﾞが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ず電源ﾌﾟﾗｸﾞを持って抜いてください。
 電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け	・万一、本機を落としたり、ｹｰｽを損傷した場合は、電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜いて 取扱店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。 ・移動させる場合は、必ず電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜き、外部の接続ｺｰﾄﾞを外してから 行ってください。 電源ｺｰﾄﾞが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ・長期間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから 抜いてください。 火災の原因となることがあります。

本機を修理に出されるときのご注意。

●お客様が登録された電話番号等は、あらかじめ電話番号登録リストに控えておいてください。

弊社では修理の際にプライバシー保護の為、お客様が登録された電話番号等の登録内容は
確認いたしません。
弊社サービスにて修理の際、動作確認の為に登録されている電話番号（ダイヤルイン番号と
発信者番号）を書き換えます、修理完了後お客様で電話番号等の登録を再度行ってください。

●お客様または第三者が本機の使用を誤り、使用中に生じた事故、その他の不具合または
本機の使用によって受けられた損害につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を
除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

お使いになる前に

メモ この取扱説明書に『メモ』として記載されている内容は、本機を正しくお使いいただくために、守っていただきたいことや、知っておいていただきたいことが書かれています。

メモ 本機をご使用にあたって、ＮＴＴのレンタル電話機が不要となる場合は、
ＮＴＴへご連絡ください。
ご連絡いただいた日をもって、『機器使用料』は不要となります。
詳しくは、局番なしの『１１６番』（無料）へお問い合わせください。

◎本機の特徴

モデムダイヤルインサービスを契約することで、
１本の電話回線で最大３つの電話番号を使い分ける事ができます。（頁１９～２１・頁２５）

●自分専用の番号がもてます。

●ＦＡＸ専用の番号で快適通信が実現します。

●お店用と家庭用の電話の使い分けができます。

●二世帯でそれぞれ電話番号を持てます。

メモ モデムダイヤルインサービスを契約されると、別途サービス料が必要になります。

注－１）ダイヤルインサービスでＰＢ信号方式はご利用できません。
必ず、モデム信号方式（モデムダイヤルインサービス）をご契約ください。

注－２）ピンク電話、転送でんわ、ボイスワープ、トリオホンなどと重複してのご利用はできません。
詳しくは、局番なしの『１１６』へお問い合わせください。

ナンバーディスプレイサービスを契約することで、
掛けてきた相手の電話番号で呼出す先を切替える事ができます。（頁２２～２４・頁２６）

●特定の相手の電話番号を登録すれば、自分の電話にしか繋がりません。

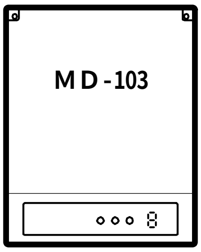
●ナンバーディスプレイ対応電話機を１台接続できます。（ＴＥＬ１端子のみ可能）（頁１７）

メモ ナンバーディスプレイサービスを契約されると、別途サービス料が必要になります。

注）ナンバーリクエストサービスを契約されている場合、相手が非通知で掛けてきたときは着信できません。

◎付属品について

本機には、つぎのものが同梱されています。
本体と下記の付属品がそろっているか、必ずご確認してください。
万一、不足しているときや、違ったものが入っていたときは、
お買い求めの取扱店か弊社までお知らせください。



本体　　　　　　　１台



取扱説明書　　　　　１冊
（本書のことです）



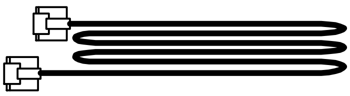
壁掛け用型紙　　　　１枚



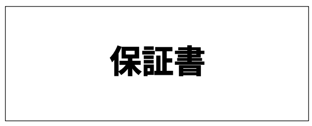
ダミープラグ　　３個



壁掛け用ネジ　　３本



モジュラーコード　１本



保証書　　　　　　１部

メモ　保証書の手続きを

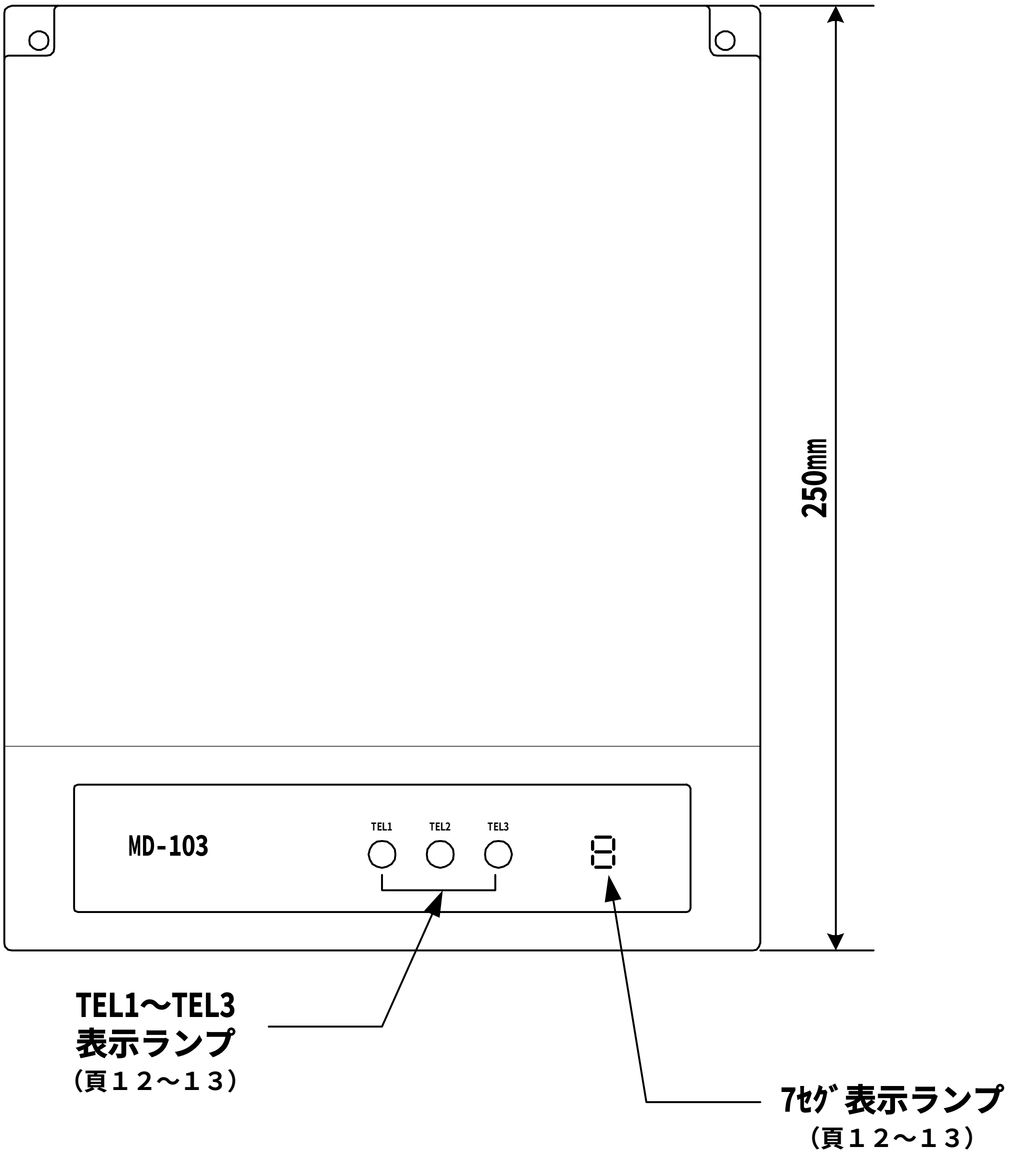
お買い求めいただきました際、取扱店で必ず保証書の手続きをしてください。

保証書に取扱店名、購入日などの記載がないときは、
保証期間中でも有料修理となりますので十分ご注意ください。

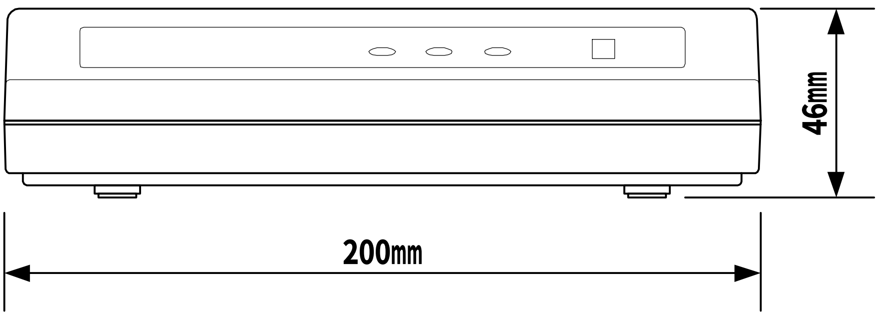
各部の名称と機能

◎各部の名称

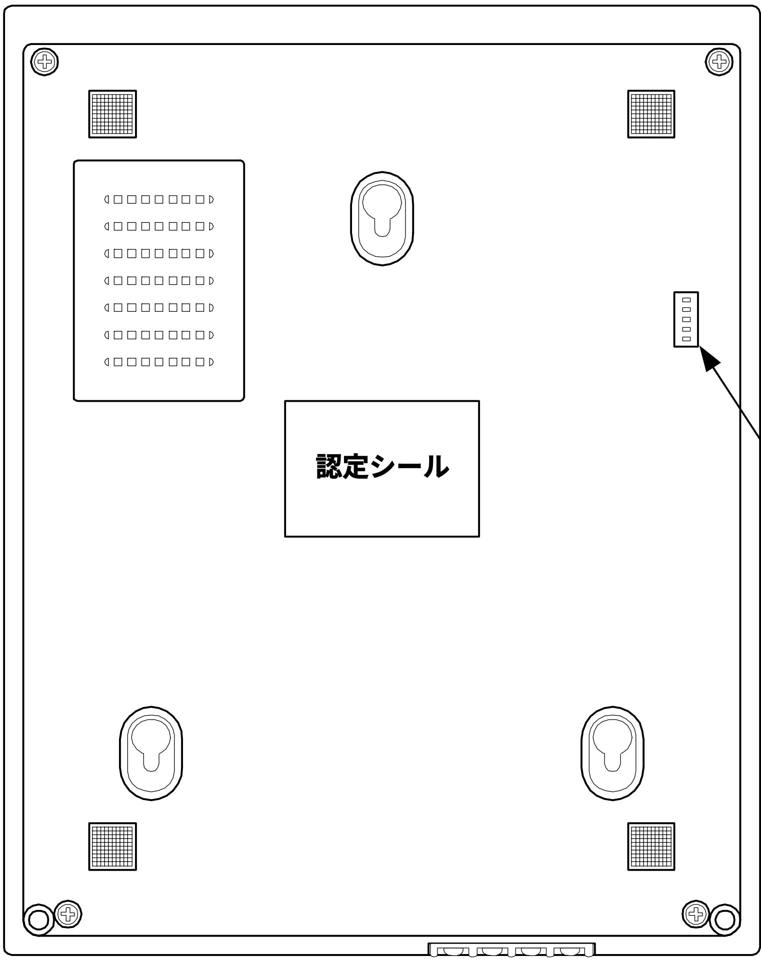
● 表面



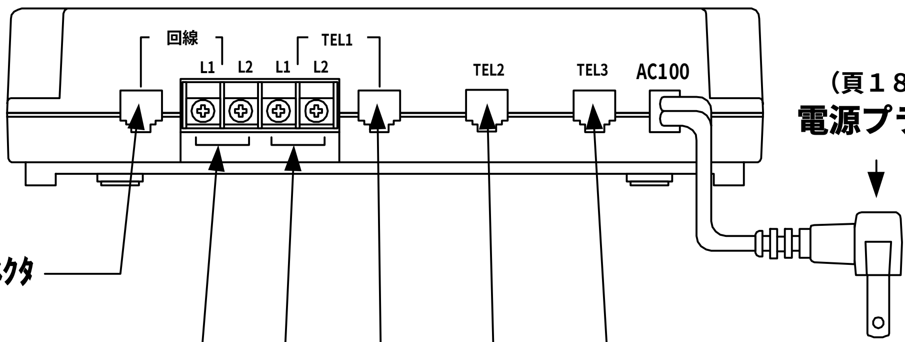
● 前面



● 裏面


認定シール
設定スイッチ
（頁１４～１５）

● 後面


回線
TEL1
L1
L2
L1
L2
TEL2
TEL3
AC100
（頁１８）
電源プラグ
回線ﾓｼﾞｭﾗｰｺﾈｸﾀ
（頁１６）
回線ネジ端子
（頁１６）
TEL1ネジ端子
（頁１７）
TEL3ﾓｼﾞｭﾗｰｺﾈｸﾀ （頁１７）
TEL2ﾓｼﾞｭﾗｰｺﾈｸﾀ （頁１７）
TEL1ﾓｼﾞｭﾗｰｺﾈｸﾀ （頁１７）

◎表示ランプ

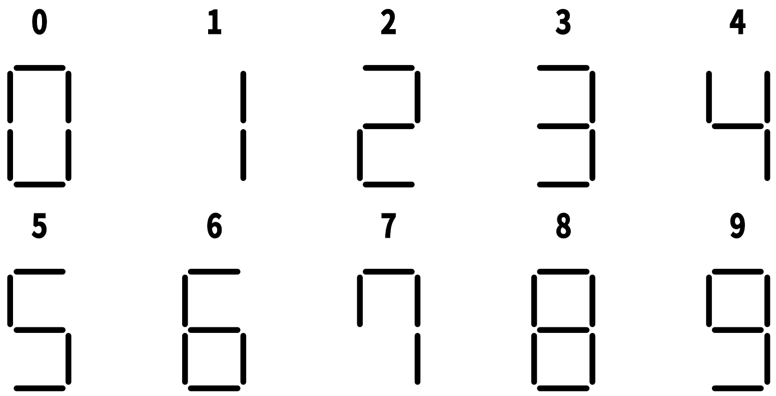
●ＴＥＬ１表示ランプ
ＴＥＬ１端子の動作状態を点灯・点滅・消灯で表示します。

●ＴＥＬ２表示ランプ
ＴＥＬ２端子の動作状態を点灯・点滅・消灯で表示します。

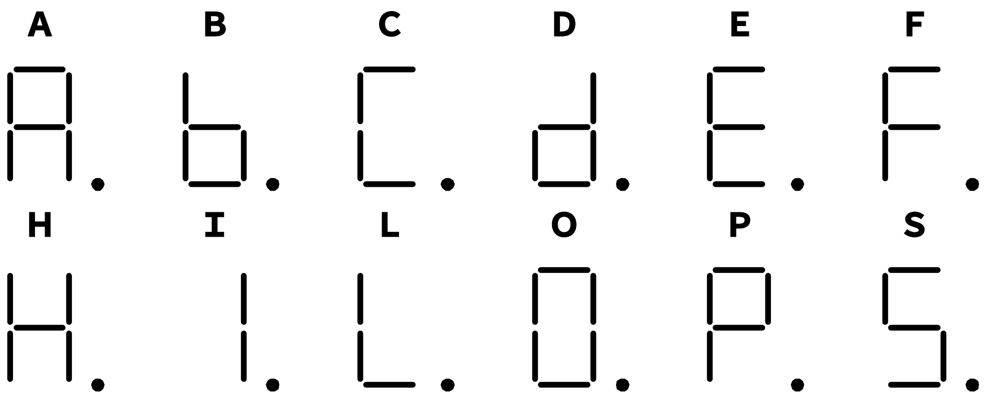
●ＴＥＬ３表示ランプ
ＴＥＬ３端子の動作状態を点灯・点滅・消灯で表示します。

●７セグ表示ランプ
電話番号の登録内容確認表示（頁３０）や動作状態（頁１３）を表示します。

数字表示



ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ表示



●表示ランプの表示例

メモ　ＴＥＬ１～ＴＥＬ３表示ランプの状態を右記の表示で動作を表します。

７セグ表示ランプと併せて、主な動作状態を示します。

点灯	消灯	点滅
●	○	⊜

表示例	TEL1	TEL2	TEL3	７セグ	
表示例－１ 電話番号の登録や確認を行う、 登録モードの入力待ち状態を示します。	○	○	○	P.	
表示例－２ ダイヤルイン『あり』 ナンバーディスプレイ対応『なし』設定モードの待機状態を示します。	○	○	○	1	
表示例－３ ダイヤルイン『なし』 ナンバーディスプレイ対応『あり』設定モードの待機状態を示します。	○	○	○	2	
表示例－４ ダイヤルイン『あり』 ナンバーディスプレイ対応『あり』設定モードの待機状態を示します。	○	○	○	3	
表示例－５ モデムダイヤルイン等のデータ受信中の状態を示します。	○	○	○	d.	点滅
表示例－６ ＴＥＬ１端子が通話中の状態を示します。	●	○	○	1	
表示例－７ ＴＥＬ３端子が通話中の状態を示します。	○	○	●	3	
表示例－８ ＴＥＬ３端子が着信の状態を示します。	○	○	⊜	3	点滅
表示例－９ 登録操作ミスによるエラー状態、及び 登録操作中に電話が掛かった状態を示します。	○	○	○	E.	点滅

◎設定スイッチ

●　設定スイッチ機能一覧

ＤＳＷ	設　定　内　容	ＯＦＦ側	ＯＮ側
１－１	モデムダイヤルイン『あり／なし』設定	なし	あり
１－２	ナンバーディスプレイ対応『あり／なし』設定	なし	あり
１－３	デフォルト呼出端子『TEL1／1-4』設定	TEL1	1-4
１－４	デフォルト呼出端子『TEL2／TEL3』設定	TEL2	TEL3
１－５	動作モード『切替モード／登録モード』設定	切替	登録

メモ　１－１と１-２を両方『なし』にすると、
切替動作を行わずに回線とTEL1端子を直接接続します。
※モデムダイヤルイン・ナンバーディスプレイサービスの工事が完了したら、
『あり』に設定します。

［　］は工場出荷時の設定

●　ＤＳＷ１－１　：モデムダイヤルイン『あり／なし』設定

モデムダイヤルインサービスの工事（ＮＴＴ）が完了したら『あり』に設定します。

メモ　モデムダイヤルインサービスを利用しない場合は、『なし』に設定します。

注）モデムダイヤルインサービスは利用しないが、ナンバーディスプレイサービスを利用し、
ＴＥＬ１端子にナンバーディスプレイサービスに対応しない電話機を接続する場合は
『あり』に設定してください。

●　ＤＳＷ１－２　：ナンバーディスプレイ対応『あり／なし』設定

ナンバーディスプレイ対応電話機をＴＥＬ１端子に接続する場合に『あり』に設定します。

メモ　ＴＥＬ１端子にナンバーディスプレイ対応電話機を接続しない場合は、
『なし』に設定します。

●　ＤＳＷ１－３　：デフォルト呼出端子『TEL1／1-4』設定

モデムダイヤルインサービスを利用せずに、
ナンバーディスプレイサービスのみを利用して（発信者番号で）切替える場合。

登録した電話番号以外から掛かってきたときに呼出す端子を設定します。（頁２６）

ＴＥＬ１：ＴＥＬ１端子を呼出します。

１－４：DWS１－４で設定した端子を呼出します。

●　ＤＳＷ１－４　：デフォルト呼出端子『TEL2／TEL3』設定

ＤＳＷ１－３が『１－４』設定の場合にモデムダイヤルインサービスを利用せずに、
ナンバーディスプレイサービスのみを利用して（発信者番号で）切替える場合。

登録した電話番号以外から掛かってきたときに呼出す端子を設定します。（頁２６）

ＴＥＬ２：ＴＥＬ２端子を呼出します。

ＴＥＬ３：ＴＥＬ３端子を呼出します。

●　ＤＳＷ１－５　：動作モード『切替／登録』設定

本機の動作モードを設定します。

切替：切替モード

モデムダイヤルインサービス・ナンバーディスプレイサービスを利用して、
回線切替を行います。

登録：登録モード

回線切替の為の電話番号の登録（頁１９～２４）、電話番号の確認（頁３０）等を
行います。

メモ

登録モードでＴＥＬ１の受話器を上げると、回線の極性を７セグ表示ランプに表示します。（頁３６）

Ｌ１が(＋)：　Ｈ．　を表示します。

Ｌ１が(－)：　Ｌ．　を表示します。

回線がオープンまたはショート：　Ｏ．　を表示します。

接続方法　-回線-

◎電話回線の接続

メモ

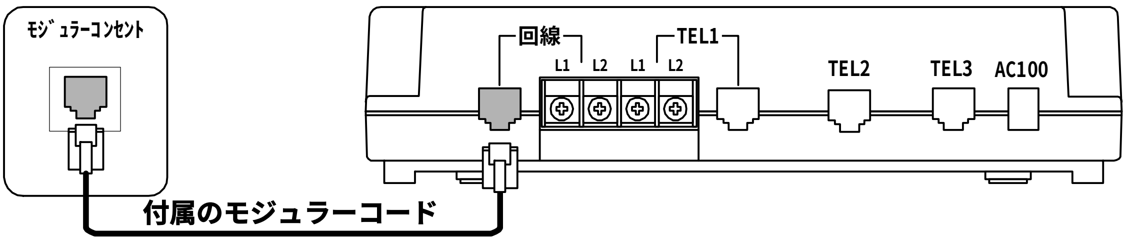
本機に接続する回線には、モデムダイヤルインサービスまたは、
ナンバーディスプレイサービスの何れかの契約が必要です。

電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しない機器があります。
（本機の回線端子のＬ１に電話回線の＋４８Ｖ側を接続してください。）
ピンク電話を接続される場合は、必ず回線の極性を合わせてください。（頁３６）
電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しません。

ホームテレホンやＰＢＸ（構内交換機）の内線に接続することはできません。
また、ＩＳＤＮ回線に直接接続することはできません。

●　電話回線がアナログ回線のとき

付属のモジュラーコードを、カチッと音がするまで差し込む。

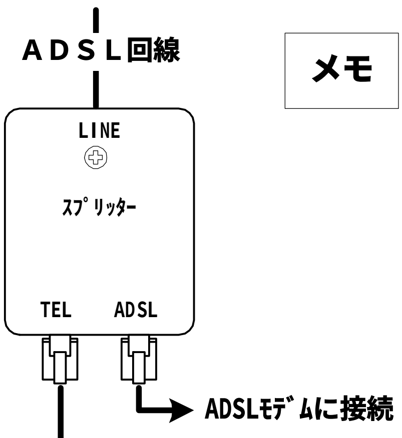


メモ

コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、ＦＡＸなどの通信に障害を及ぼすことがあります。

注）回線をネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。

●　電話回線がＡＤＳＬ回線のとき

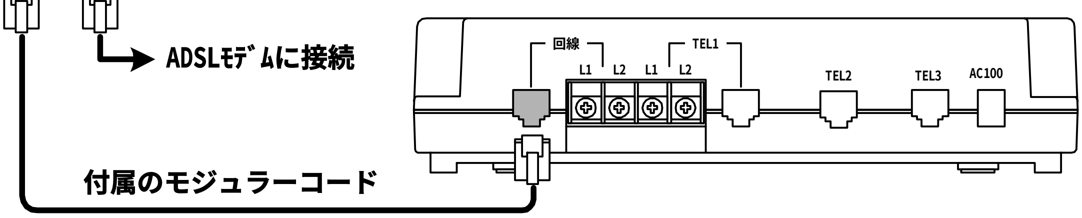


メモ

ＡＤＳＬ回線に接続する場合は、必ずスプリッターの
ＴＥＬポートに接続してください。

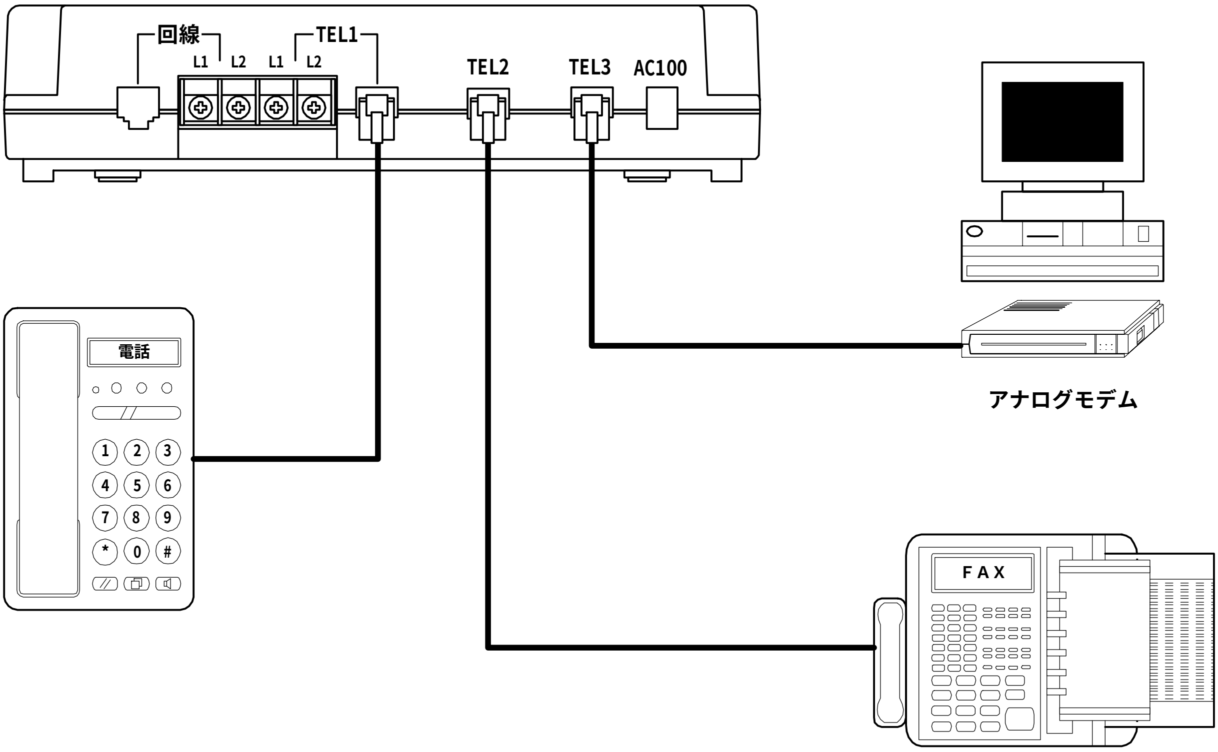
スプリッター内蔵タイプのＡＤＳＬモデムの場合は、
ＡＤＳＬモデムのＴＥＬポートに接続してください。

詳細は、ＡＤＳＬモデムの取扱説明書を参照してください。



接続方法　-ＴＥＬ１～ＴＥＬ３-

◎電話機、ＦＡＸ、モデム等の接続



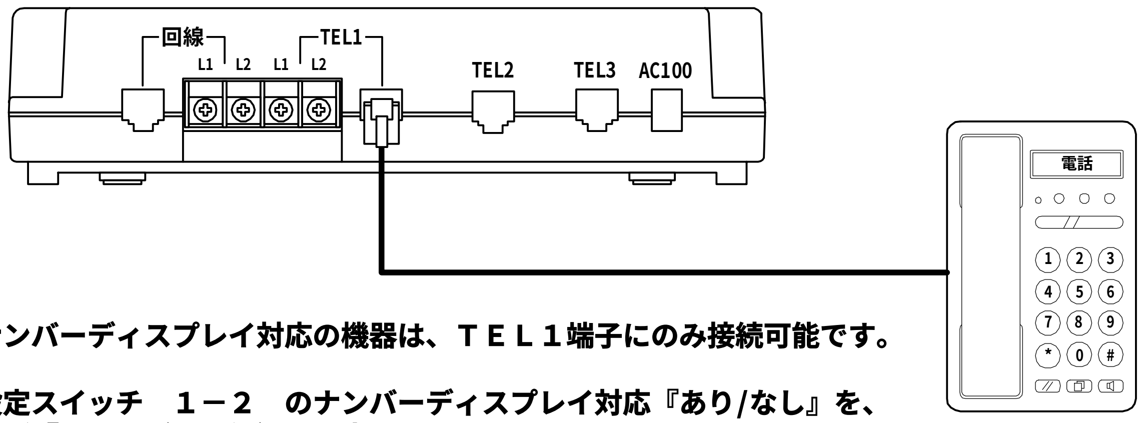
メモ

本機のＴＥＬ１端子～ＴＥＬ３端子に各々1台の電話機等の機器を接続します。

コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、ＦＡＸなどの通信に障害を及ぼすことがあります。

注）電話機等をネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。

◎ナンバーディスプレイ対応電話機の接続



メモ

ナンバーディスプレイ対応の機器は、ＴＥＬ１端子にのみ接続可能です。

設定スイッチ　１－２　のナンバーディスプレイ対応『あり/なし』を、
必ず『あり』（ＯＮ側）に設定してください。

接続方法　-ＡＣ１００-

◎電源の接続

電話回線、電話機等の端末機器の接続が完了したら、
電源プラグをもってＡＣ１００Ｖコンセントに差し込む。

メモ

本機の停電時には、電話回線とＴＥＬ１端子を直接接続します。

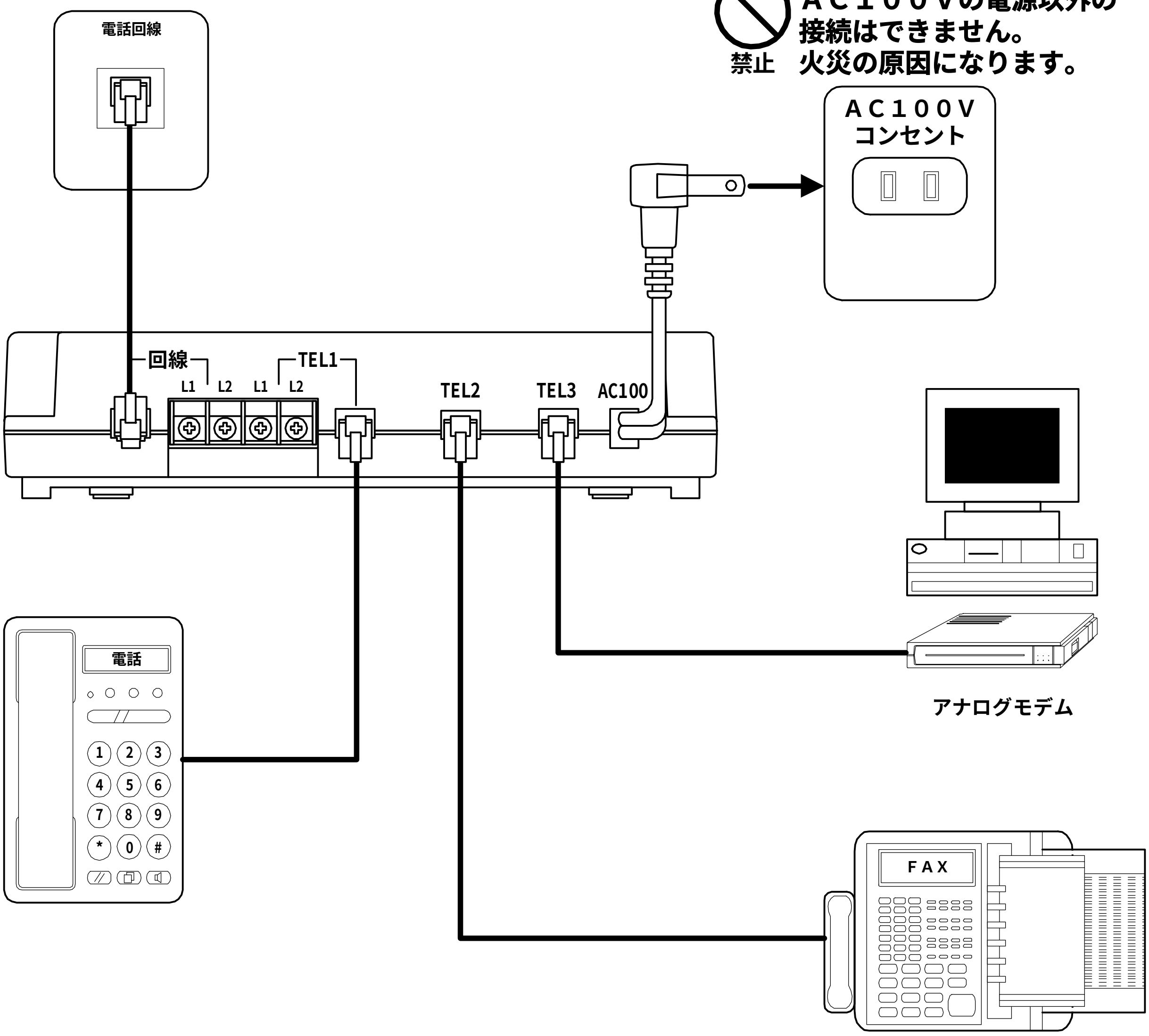
切替動作ができませんので、ＴＥＬ１端子に接続した端末機器のベルが短い周期で鳴ります。
（機器によっては、ならない場合があります）

通常の呼出ベルが鳴ったら、電話に出てください。

禁止　タコ足配線は、しないでください。火災の原因になります。

注意　電源プラグをもって確実に差し込んでください。感電の原因になります。

禁止　ＡＣ１００Ｖの電源以外の接続はできません。火災の原因になります。



電話番号の登録　-ダイヤルイン番号-

◎ＴＥＬ１端子のダイヤルイン番号登録

メモ

電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

①
電話の受話器を上げ、“ププッ　ププッ　ププッ”という音を確認し

[＃] を押す。

②
ＴＥＬ１端子の登録アドレス（＊０１＃）を入力する。

[＊] [０] [１] [＃] を押す。

③
ダイヤルイン番号を市外局番から全桁入力する。

[０] [８] [２] [×] [×] [×] [１] [１] [１] [１] を押す。

④
[＃] を押す。

“プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて登録完了。

⑤
電話の受話器を下ろしてください。

メモ

操作の途中で“ツーッ　ツーッ　ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ２端子のダイヤルイン番号登録

メモ

電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

①
電話の受話器を上げ、“ププッ　ププッ　ププッ”という音を確認し

[＃] **を押す。**

②
ＴＥＬ２端子の登録アドレス（＊０２＃）を入力する。

[＊] [0] [2] [＃] **を押す。**

③
ダイヤルイン番号を市外局番から全桁入力する。

[0] [8] [2] [×] [×] [×] [2] [2] [2] [2] **を押す。**

④
[＃] **を押す。**

“プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて登録完了。

⑤
電話の受話器を下ろしてください。

メモ

操作の途中で“ツーッ　ツーッ　ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ３端子のダイヤルイン番号登録

メモ 電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

①
電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ” という音を確認し

[＃] を押す。

②
ＴＥＬ３端子の登録アドレス（＊０３＃）を入力する。

[＊] [0] [3] [＃] を押す。

③
ダイヤルイン番号を市外局番から全桁入力する。

[0] [8] [2] [×] [×] [×] [3] [3] [3] [3] を押す。

④
[＃] を押す。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　” という確認音が聞こえて登録完了。

⑤
電話の受話器を下ろしてください。

メモ 操作の途中で “ ツーッ　ツーッ　ツーッ ” という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ 操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

電話番号の登録　-発信者番号-

◎ＴＥＬ１端子の発信者番号登録

メモ

電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

① 電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ”という音を確認し

［＃］ を押す。

② ＴＥＬ１端子の登録アドレス（＊１０＃～＊１９＃）１０ヶ所から１ヶ所を選ぶ

［＊］［1］［0］［＃］ を押す。

③ 発信者番号を市外局番から全桁入力する。

［0］［8］［2］［×］［×］［×］［4］［4］［4］［4］ を押す。

④ ［＃］ を押す。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて登録完了。

⑤ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ

操作の途中で“ ツーッ　ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ２端子の発信者番号登録

メモ　電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

①
電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ”という音を確認し

［＃］ を押す。

②
ＴＥＬ２端子の登録アドレス（＊２０＃～＊２９＃）１０ヶ所から１ヶ所を選ぶ

［＊］［２］［０］［＃］ を押す。

③
発信者番号を市外局番から全桁入力する。

［0］［8］［2］［×］［×］［×］［5］［5］［5］［5］ を押す。

④
［＃］ を押す。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて登録完了。

⑤
電話の受話器を下ろしてください。

メモ　操作の途中で“ ツーッ　ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ　操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ３端子の発信者番号登録

メモ
電話番号の登録は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では登録ができません。

① 電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ”という音を確認し

［＃］を押す。

② ＴＥＬ３端子の登録アドレス（＊３０＃～＊３９＃）１０ヶ所から１ヶ所を選ぶ

［＊］［３］［０］［＃］を押す。

③ 発信者番号を市外局番から全桁入力する。

［0］［9］［0］［×］［×］［×］［×］［6］［6］［6］［6］を押す。

④ ［＃］を押す。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて登録完了。

⑤ 電話の受話器を下ろしてください。

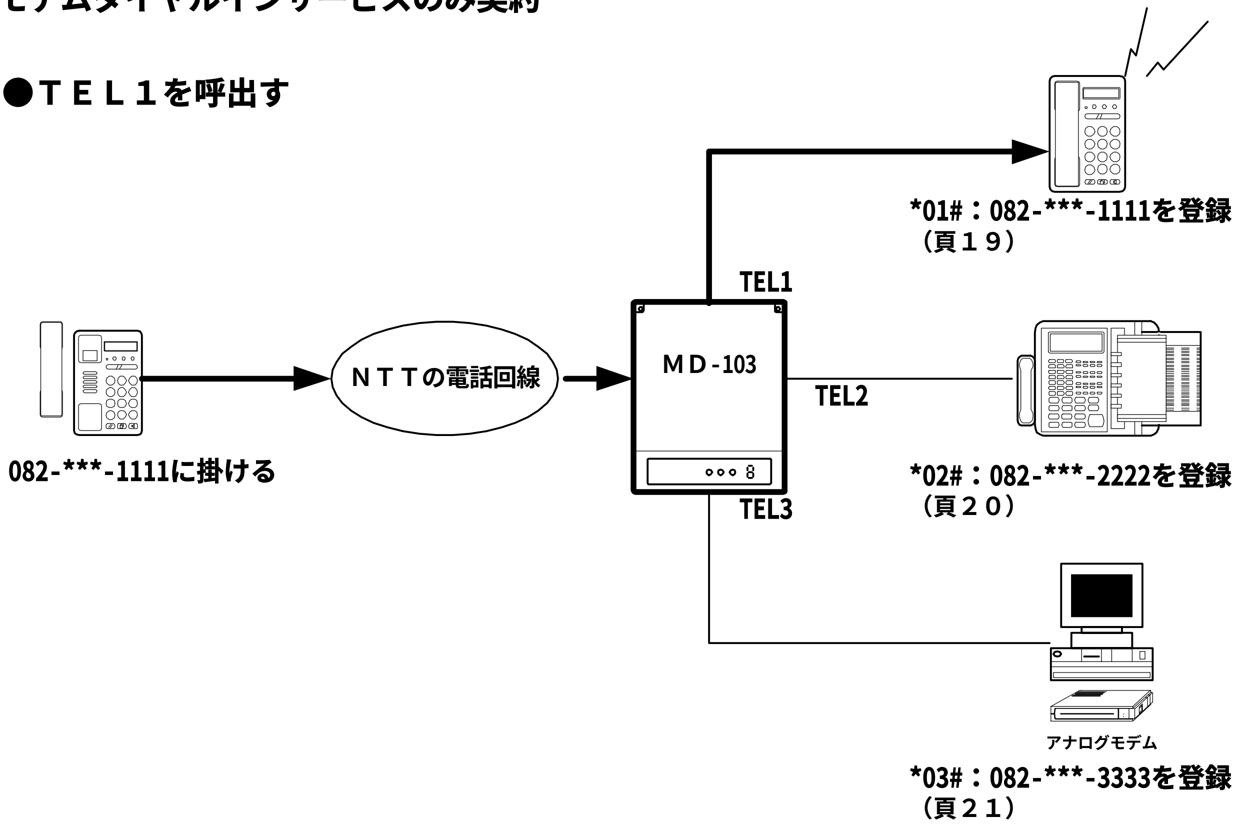
メモ
操作の途中で“ ツーッ　ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ
操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

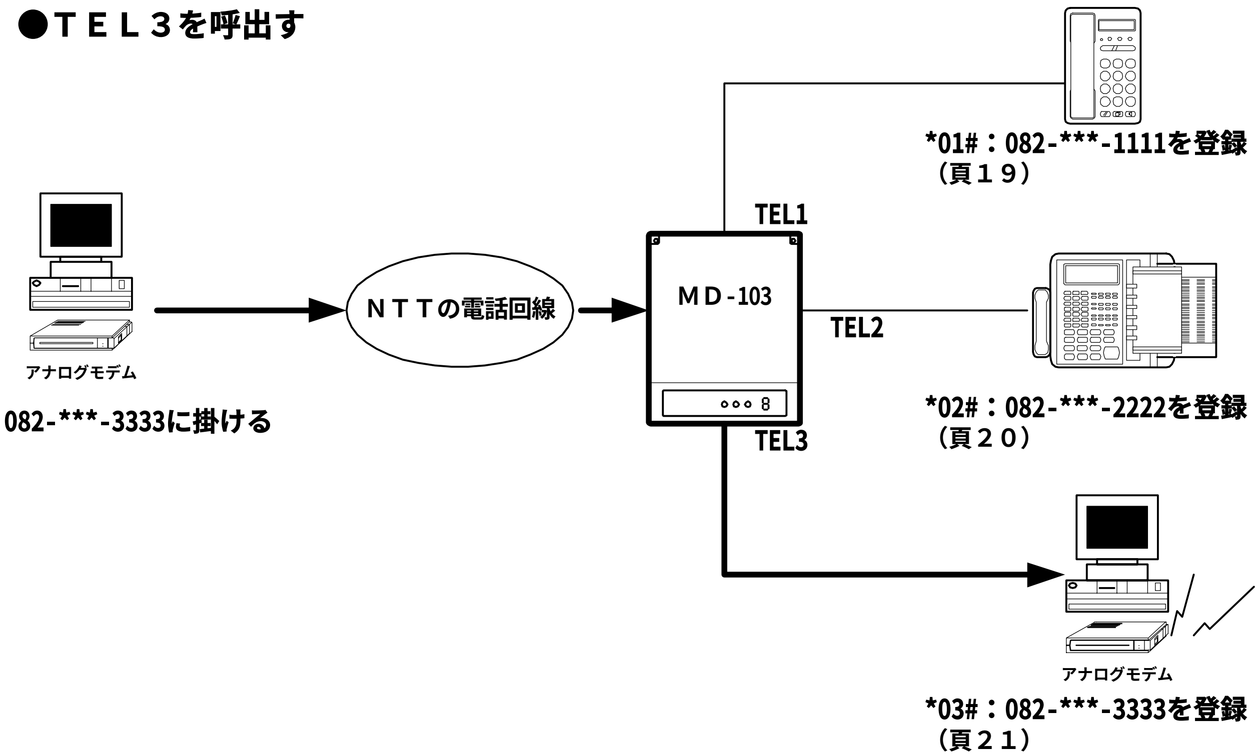
基本動作　－モデムダイヤルイン－

◎モデムダイヤルインサービスのみ契約

●ＴＥＬ１を呼出す



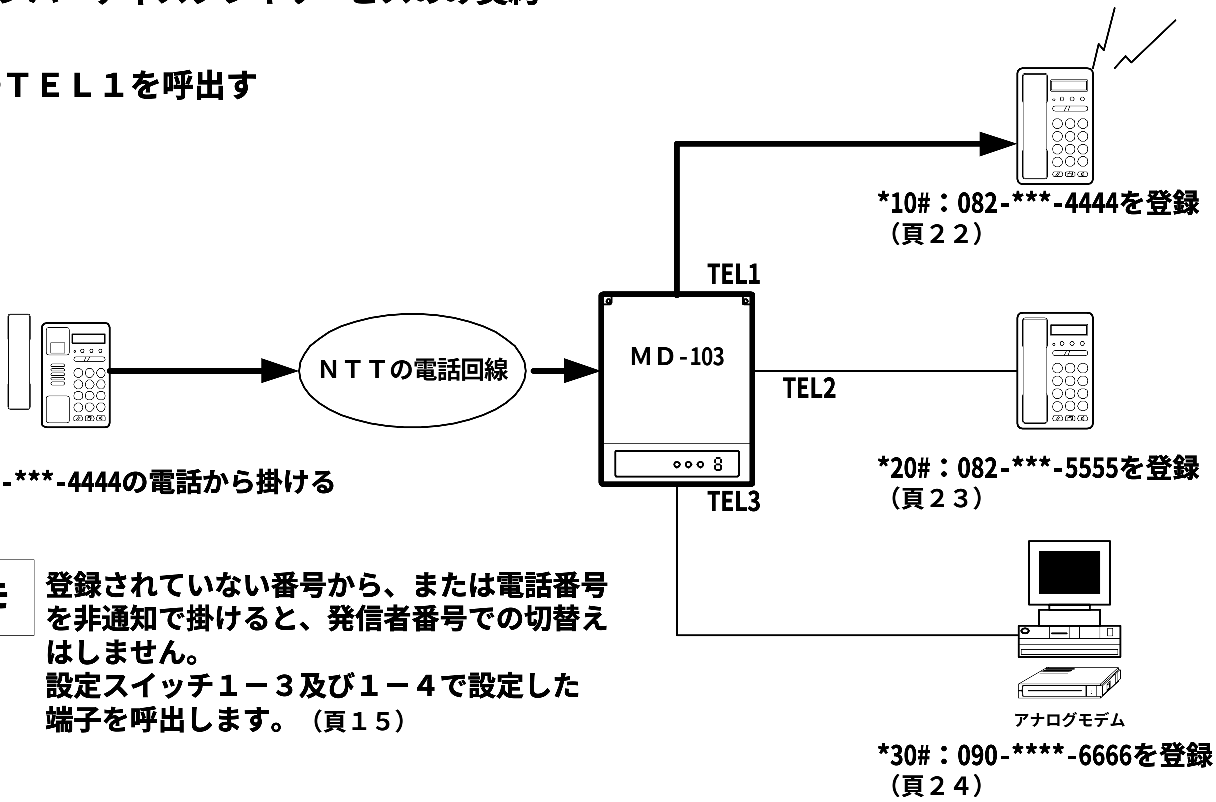
●ＴＥＬ３を呼出す



基本動作　－ナンバーディスプレイ－

◎ナンバーディスプレイサービスのみ契約

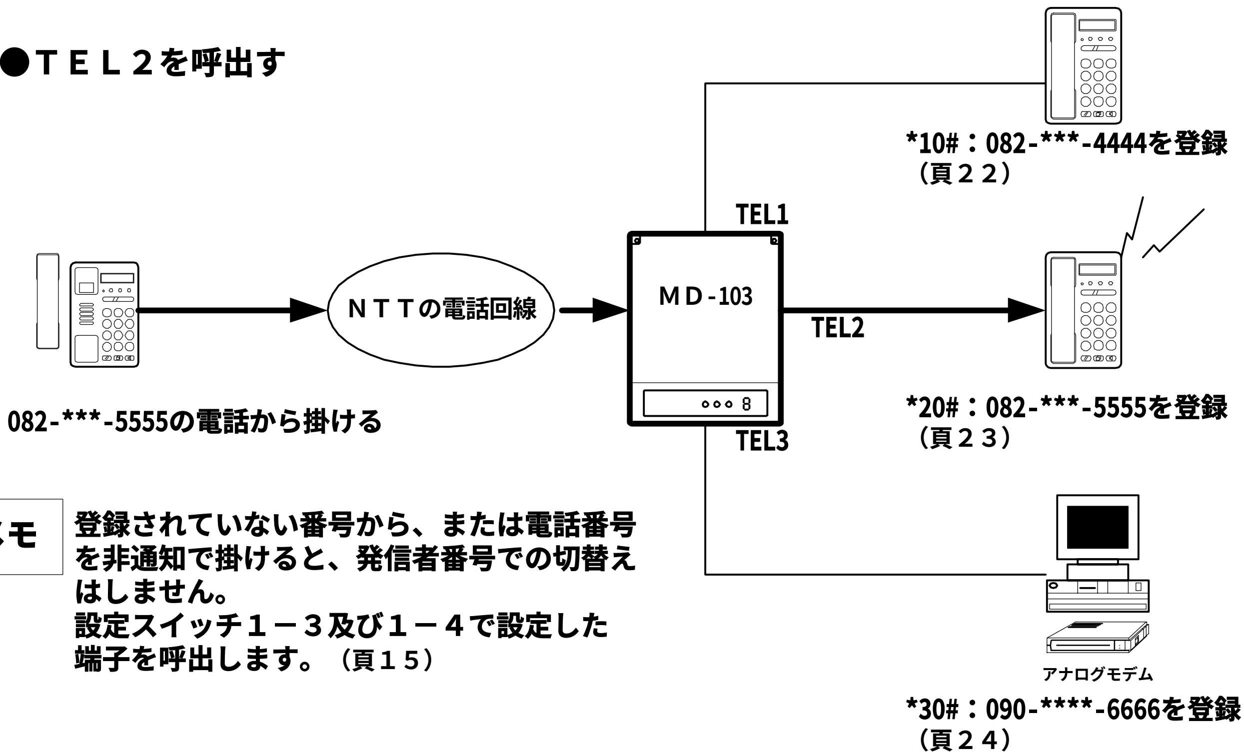
●ＴＥＬ１を呼出す



メモ

登録されていない番号から、または電話番号を非通知で掛けると、発信者番号での切替えはしません。
設定スイッチ１－３及び１－４で設定した端子を呼出します。（頁１５）

●ＴＥＬ２を呼出す



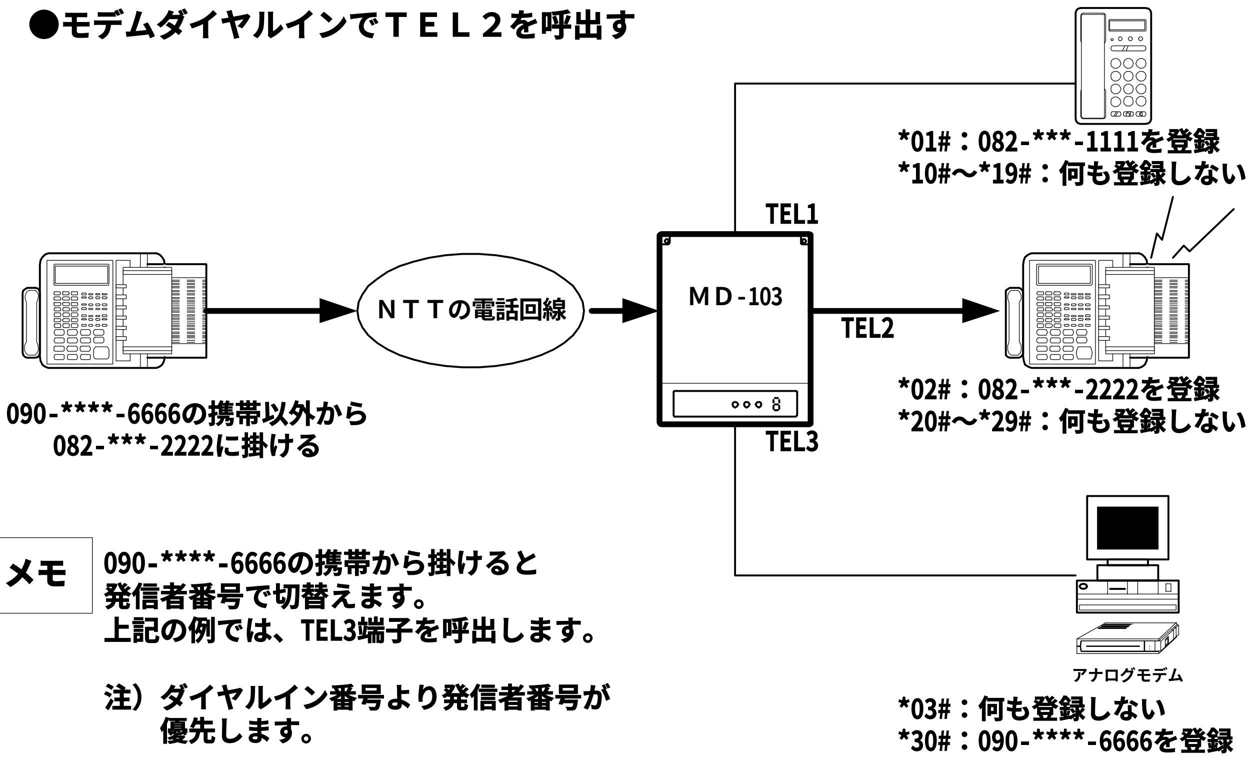
メモ

登録されていない番号から、または電話番号を非通知で掛けると、発信者番号での切替えはしません。
設定スイッチ１－３及び１－４で設定した端子を呼出します。（頁１５）

基本動作　ーモデムダイヤルインとナンバーディスプレイー

◎モデムダイヤルインとナンバーディスプレイサービスを一緒に契約

●モデムダイヤルインでＴＥＬ２を呼出す

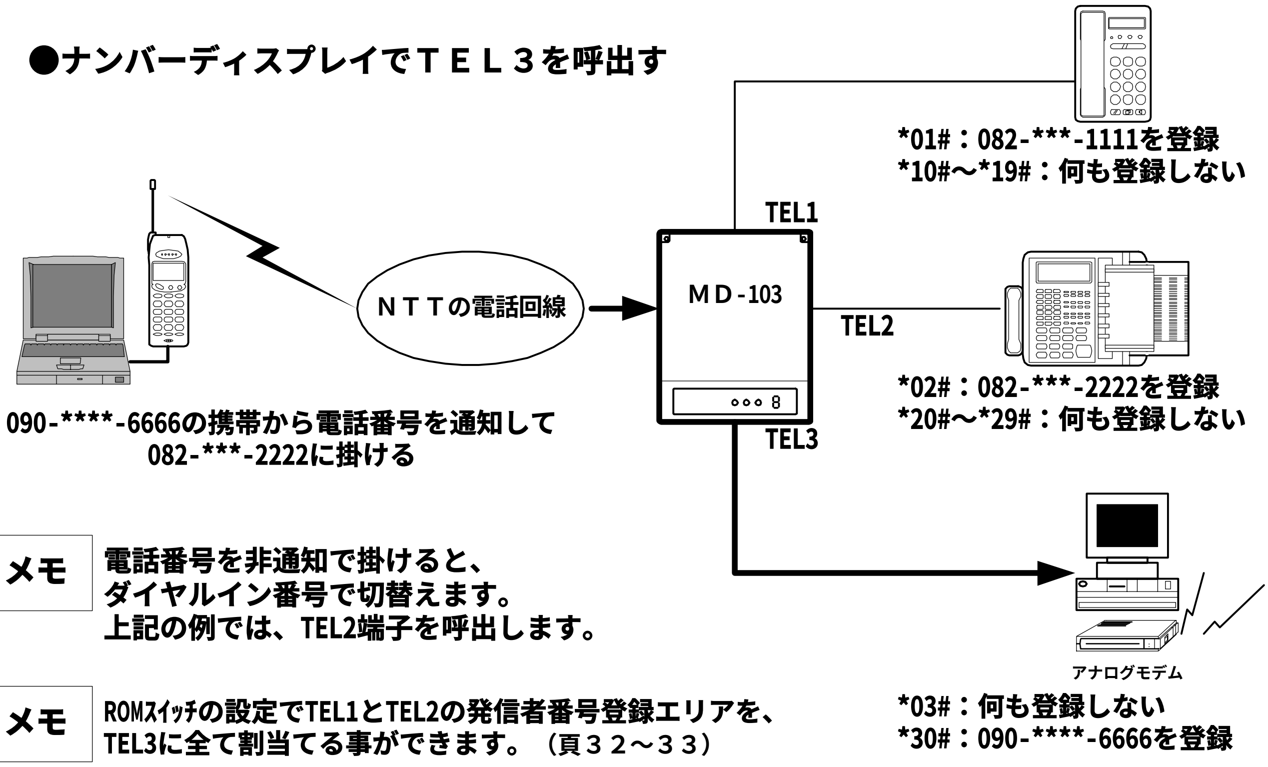


メモ

090-****-6666の携帯から掛けると
発信者番号で切替えます。
上記の例では、TEL3端子を呼出します。

注）ダイヤルイン番号より発信者番号が
優先します。

●ナンバーディスプレイでＴＥＬ３を呼出す



メモ

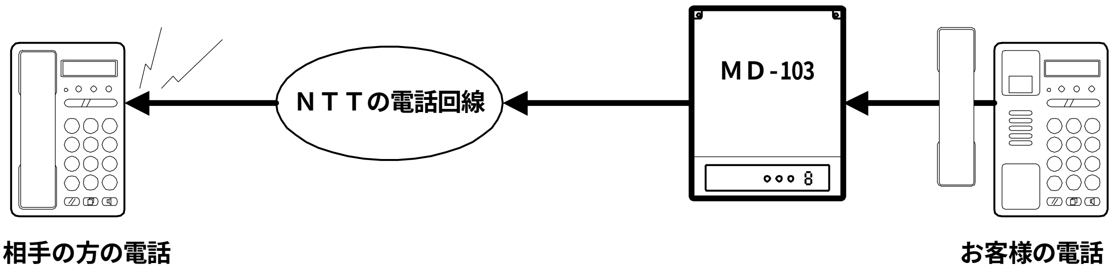
電話番号を非通知で掛けると、
ダイヤルイン番号で切替えます。
上記の例では、TEL2端子を呼出します。

メモ

ROMｽｲｯﾁの設定でTEL1とTEL2の発信者番号登録エリアを、
TEL3に全て割当てる事ができます。（頁３２～３３）

基本動作　－電話をかける－

◎電話をかける



①　受話器を上げて、“ ツー ”という音を確かめる。

②　電話番号をダイヤルし、相手の方が電話に出たらお話しください。

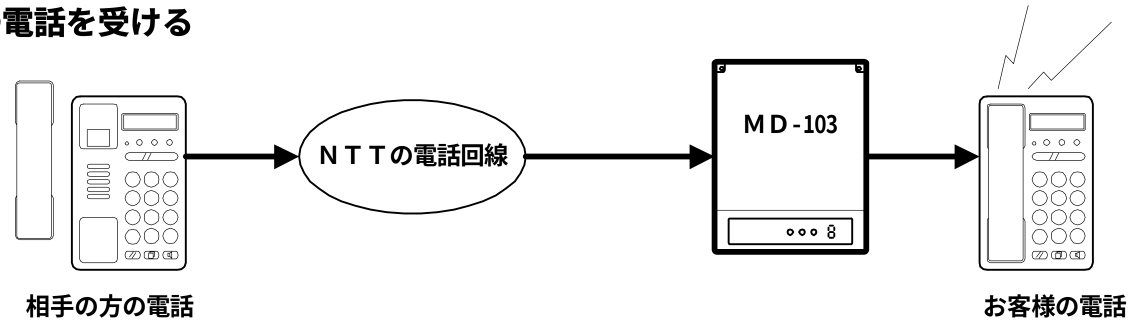
③　お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ　①の操作で、受話器から“ ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえるときは、
他の機器が通信中なので、受話器をおろしてください。

メモ　③の操作で、お客様が受話器をおろして約２秒経ってから、
本機はお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約２秒ほど間をおいてください。）

基本動作　－電話を受ける－

◎電話を受ける



① 電話のベルが鳴る。

② 受話器を上げて、お話しください。

③ お話しがすんだら、受話器をおろす。

メモ
③の操作で、お客様が受話器をおろして約２秒経ってから、
本機はお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約２秒ほど間をおいてください。）

メモ
TEL1端子にナンバーディスプレイ対応電話機を接続されている場合
ご使用の機器によっては、TEL2端子またはTEL3端子に掛かってきた時でも、
電話機のディスプレイに『着信有り』や『電話番号』等が表示されます。

こんなときには

◎登録済みの電話番号を確認する

メモ　登録済み電話番号の確認は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では確認ができません。

① 電話の受話器を上げ、“ププッ　ププッ　ププッ”という音を確認し

［＃］ を押す。

② 確認したい電話番号の登録アドレスを押す（＊０１＃～＊０３＃、＊１０＃～＊３９＃）

［＊］［0］［1］［＃］ を押す。（ＴＥＬ１端子のダイヤルイン番号の場合）

③ ［＊］ を押す。

④ ７セグ表示ランプに、先頭から1桁づつ登録内容を表示する。

0	8	2	2	3	4	3	5	3	3	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	桁目

⑤ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ　操作の途中で“ツーッ　ツーッ　ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ　④で電話番号が登録されていないとき　C.　を表示します。

メモ　操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎登録済みの電話番号を消去する

メモ

登録済み電話番号の消去は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では消去ができません。

①
電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ”という音を確認し

[＃] を押す。

②
消去したい電話番号の登録アドレスを押す（＊０１＃～＊０３＃、＊１０＃～＊３９＃）

[＊] [1] [0] [＃] を押す。（ＴＥＬ１端子の発信者番号の場合）

③
０を４桁入力する。

[0] [0] [0] [0] を押す。

④
[＃] を押す。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて消去完了。

⑤
電話の受話器を下ろしてください。

メモ

操作の途中で“ ツーッ　ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ

操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ１用発信者番号の登録エリアをＴＥＬ３用に変更する

メモ 登録エリアの変更は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では変更ができません。

① 電話の受話器を上げ、“ププッ　ププッ　ププッ”という音を確認し

［＃］を押す。

② ［＊］［4］［7］［＃］を押す。

③ ［3］を押す。

④ ［＃］を押す。

“プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて変更完了。

⑤ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ 操作の途中で“ツーッ　ツーッ　ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ 設定を戻すには③の操作で［１］を押してください。

メモ 操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎ＴＥＬ２用発信者番号の登録エリアをＴＥＬ３用に変更する

メモ 登録エリアの変更は登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では変更ができません。

① 電話の受話器を上げ、“ププッ　ププッ　ププッ”という音を確認し

［＃］を押す。

② ［＊］［4］［8］［＃］を押す。

③ ［3］を押す。

④ ［＃］を押す。

“プッ　プッ　プッ　プッ　”という確認音が聞こえて変更完了。

⑤ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ 操作の途中で“ツーッ　ツーッ　ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ 設定を戻すには③の操作で［2］を押してください。

メモ 操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎全ての内容を工場出荷の状態に戻す

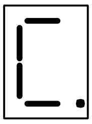
メモ 全ての内容を工場出荷の状態に戻すには登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）
ＴＥＬ１端子の電話からトーンダイヤルで操作します。

注）パルスダイヤル（10pps・20pps）では工場出荷の状態に戻せません。

① 電話の受話器を上げ、“ ププッ　ププッ　ププッ ” という音を確認し

[＃] を押す。

② [＊] [９] [９] [＃] [０] [０] [０] [０] [＃] を押す。

③ ７セグ表示ランプに  が表示されるのを確認する。

“ プッ　プッ　プッ　プッ　” という確認音が聞こえて工場出荷の状態に戻る。

④ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ 操作の途中で “ ツーッ　ツーッ　ツーッ ” という話し中の音が聞こえるときは、
操作が間違っています。
操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

メモ 登録されている全ての電話番号
（ダイヤルイン番号（*01#～*03#）と発信者番号（*10#～*39#））が消去されます。

登録エリア（ROMｽｲｯﾁ）の設定内容等は全て工場出荷の状態に戻ります。

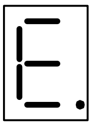
メモ 操作が終了したら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

◎登録操作中の着信動作

メモ 電話番号の登録等の操作を行っているときに、電話が掛かってきたら切替動作ができないので、次の手順でＴＥＬ１端子に接続した登録操作中の電話機に繋ぎます。

ＴＥＬ１端子に掛かってきた電話ではない場合があります。

① 電話の受話器から“ ツーッ　ツーッ　ツーッ ”という話し中の音が聞こえます。

７セグ表示ランプに  が点滅表示される。

② 電話の受話器を下ろしてください。

③ 電話のベルが鳴る。

④ 電話の受話器を上げて、お話ください。

⑤ お話が済んだら、受話器を下ろしてください。

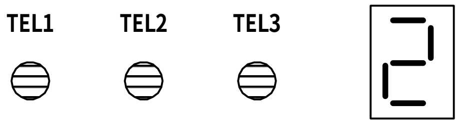
メモ 登録等の操作は完了していませんので、最初からやり直してください。

◎回線の極性を調べる

メモ　回線の極性を調べるには登録モードで行います。
（設定スイッチの１－５を『登録モード』（ＯＮ側）に設定します）

メモ　登録モードにした後、電話機の受話器を上げるまで７セグ表示ランプに本機のバージョンを数字の１～９・アルファベットのＡ～Ｆで表示します。

バージョン表示例

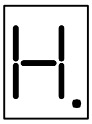


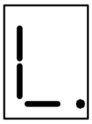
点滅

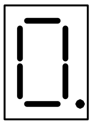
① ＴＥＬ１端子に電話機を接続します。

② 電話機の受話器を上げてください。

③

Ｌ１が（＋）のとき：７セグ表示ランプに  が表示される。

Ｌ１が（－）のとき：７セグ表示ランプに  が表示される。

ショート、オープンのとき：７セグ表示ランプに  が表示される。

メモ　Ｌ１が（－）の（７セグ表示ランプに『　Ｌ　』が表示された）場合は、
回線が逆に接続されてます、回線のＬ１とＬ２を入れ替えてください。

ショート、オープンの（７セグ表示ランプに『　Ｏ　』が表示された）場合は、
回線が短絡（ショート）または断線（オープン）しています、回線のモジュラーコードまたは回線の屋内配線を調べてください。

④ 電話の受話器を下ろしてください。

メモ　回線の極性を調べ終えたら、設定スイッチ１－５を『切替モード』（ＯＦＦ側）に設定してください。

電話番号登録リスト

登　録　項　目	登録ｱﾄﾞﾚｽ	メ　モ　（　電　　話　　番　　号　）
TEL１端子ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号	＊０１＃	（　　）
TEL２端子ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号	＊０２＃	（　　）
TEL３端子ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号	＊０３＃	（　　）
TEL１端子発信者番号	＊１０＃	（　　）
	＊１１＃	（　　）
	＊１２＃	（　　）
	＊１３＃	（　　）
	＊１４＃	（　　）
	＊１５＃	（　　）
	＊１６＃	（　　）
	＊１７＃	（　　）
	＊１８＃	（　　）
	＊１９＃	（　　）
TEL２端子発信者番号	＊２０＃	（　　）
	＊２１＃	（　　）
	＊２２＃	（　　）
	＊２３＃	（　　）
	＊２４＃	（　　）
	＊２５＃	（　　）
	＊２６＃	（　　）
	＊２７＃	（　　）
	＊２８＃	（　　）
	＊２９＃	（　　）
TEL３端子発信者番号	＊３０＃	（　　）
	＊３１＃	（　　）
	＊３２＃	（　　）
	＊３３＃	（　　）
	＊３４＃	（　　）
	＊３５＃	（　　）
	＊３６＃	（　　）
	＊３７＃	（　　）
	＊３８＃	（　　）
	＊３９＃	（　　）

サービスについて

◎保証について

●保証期間
　お買い上げ日より１年です。
　保証書の記載内容に基づいて無償にて修理が受けられる期間です。
●保証期間中の修理は
　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
　詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎているときは
　修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
●製品の状況は詳しく
　サービスをご依頼になるときは製品の故障状況を、できるだけ詳しくお知らせください。
　また製品の機種名、製造番号などもあわせてお知らせください。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

●『保証書』をご提示されないとき。
●『保証書』の所定事項の未記入または字句の訂正をされたとき。
●お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障のとき。
　（落とされたり、内部に手を加えられたり、水に濡らされたり、など）
●火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障のとき。
●取扱説明書に記載されていないようなご使用方法、注意事項を無視したご使用による原因で
　故障したとき。
●弊社、または弊社の指定する取扱店以外で、故障修理を行われたり、改造されたりしたとき。

サポートセンターの電話番号：０１２０－３４－３５６３

http://www.moritec.net

E-mail:support@moritec.net

受付時間
平日　AM9：００～PM5：００（土曜日・日曜日・祝祭日は受け付けておりません。）

株式会社モリテック

本　　社　　〒730-0846
　　　　　　広島県広島市中区西川口町２－１３
　　　　　　ＴＥＬ：０８２－２３４－３５６３　　ＦＡＸ：０８２－２３４－３５９３

東京営業所　〒105-0014
　　　　　　東京都港区芝３－２４－１
　　　　　　ＴＥＬ：０３－５４４４－２２７１　　ＦＡＸ：０３－５４４４－２２７２

仕様

◎ＭＤ－１０３の主な仕様

外 形 寸 法	250㎜×200㎜×46㎜ （奥行　　幅　　高さ）
重　　　量	1.2kg
消 費 電 力	待機時：約5W　　　動作時最大：約12W
電 源 電 圧	ＡＣ100Ｖ±10%
電源周波数	50/60Ｈｚ
使 用 環 境	温度：0℃～40℃　（結露無きこと）　　湿度：20%～80%　（結露無きこと）
保 存 環 境	温度：-10℃～60℃　（結露無きこと）　　湿度：10%～90%　（結露無きこと）
適 用 回 線	一般加入者回線 （モデムダイヤルインサービス契約・ナンバーディスプレイサービス契約）
回線接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
内　線　数	3回線（TEL1・TEL2・TEL3）
TEL1接続方式	モジュラーコネクタまたはネジ端子
TEL2接続方式	モジュラーコネクタ
TEL3接続方式	モジュラーコネクタ
TEL1接続台数	認定品端末機器　1台（ナンバーディスプレイ対応電話機の接続可能）
TEL2接続台数	認定品端末機器　1台
TEL3接続台数	認定品端末機器　1台
切 替 方 式	モデムダイヤルイン　（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号情報） ナンバーディスプレイ（発信者番号情報）
TEL1番号登録	モデムダイヤルイン　（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号登録）：1ヶ所 ナンバーディスプレイ（発信者番号登録）　：最大10ヶ所（変更可能）
TEL2番号登録	モデムダイヤルイン　（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号登録）：1ヶ所 ナンバーディスプレイ（発信者番号登録）　：最大10ヶ所（変更可能）
TEL3番号登録	モデムダイヤルイン　（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ番号登録）：1ヶ所 ナンバーディスプレイ（発信者番号登録）　：最大10ヶ所（変更可能）
番号登録方法	TEL1端子に接続した電話機からトーンダイヤルで行う
番号確認方法	TEL1端子に接続した電話機からトーンダイヤルで行う （7ｾｸﾞ表示ランプで先頭から1桁づつ表示）
停電時の動作	回線とTEL1端子を接続（切替動作は行わない）

愛情点検

★長年ご使用のために本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

●電源コード・プラグが異常に熱い。
●コゲくさい臭いがする。
●電源コードに深いキズか変形がある。
●電気を入れても正常に動作しない。
●その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため、電源プラグをＡＣ１００Ｖコンセントから抜き（素手ではなく、必ず厚手の手袋か布を使用して）必ず取扱店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は取扱店にご相談ください。

MORITEC　株式会社モリテック

取扱店	修理ご相談窓口
	株式会社モリテック サポートセンター ０１２０－３４－３５６３ E-mail：support@moritec.net

株式会社モリテック　第１版　Printed in Japan.　20 02.４